

区市町村に対する実施状況等調査

(1) 調査目的

各自治体における新生児聴覚検査等に係る実施、結果把握、相談状況の把握等を調査し今後の施策に資する。

(2) 主な調査項目

- ・ 周知に関する事項
- ・ 検査結果の確認方法
- ・ 検査の各段階で受診率が100%にならない理由
- ・ 東京都母子保健事業報告年報への計上方法
- ・ 難聴児の支援に関する地域のネットワーク

(3) 調査対象

都内62区市町村

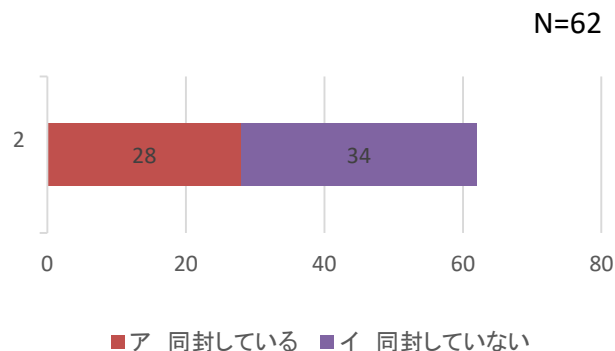
(4) 調査時期

令和4年4月

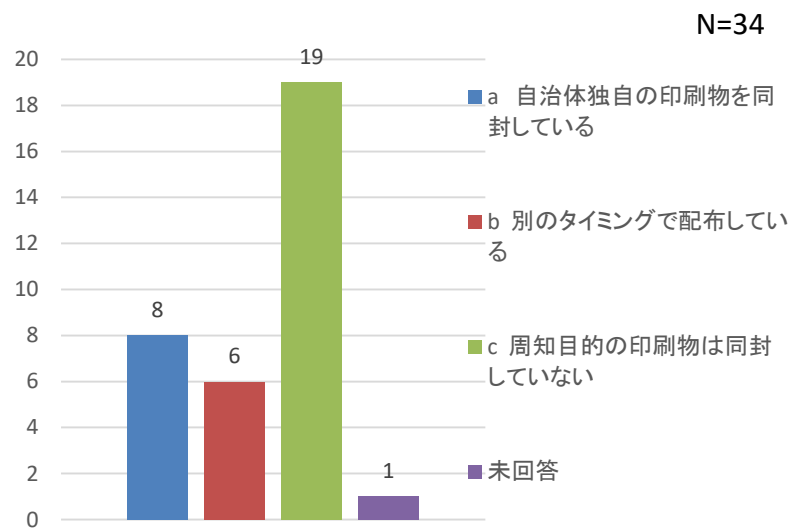
区市町村に対する実施状況等調査結果（抜粋）

1 新生児聴覚検査の周知について

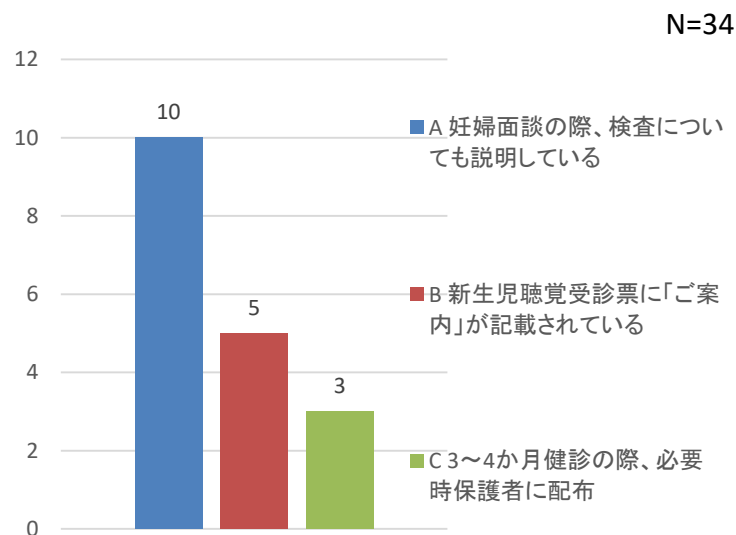
(1) 「赤ちゃんのおみみ」を妊娠届出時等で妊婦に渡す「母と子の保健バッグ」に同封しているか



(2) 同封していない場合の対応



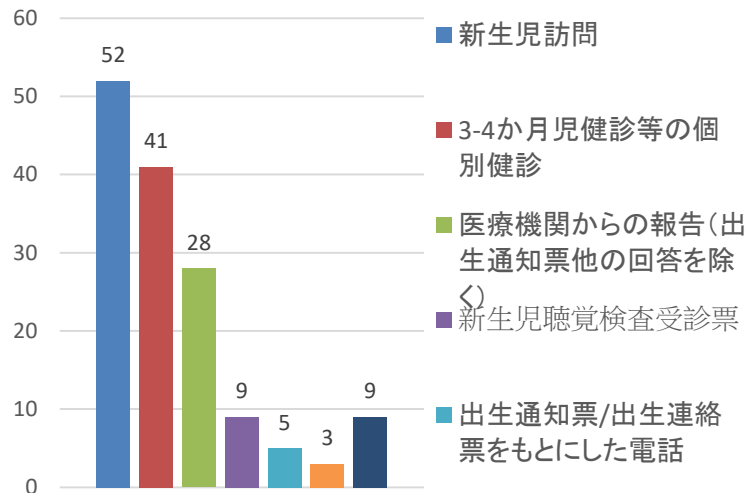
(3) 他の周知の方法や同封していない理由等（一部抜粋）



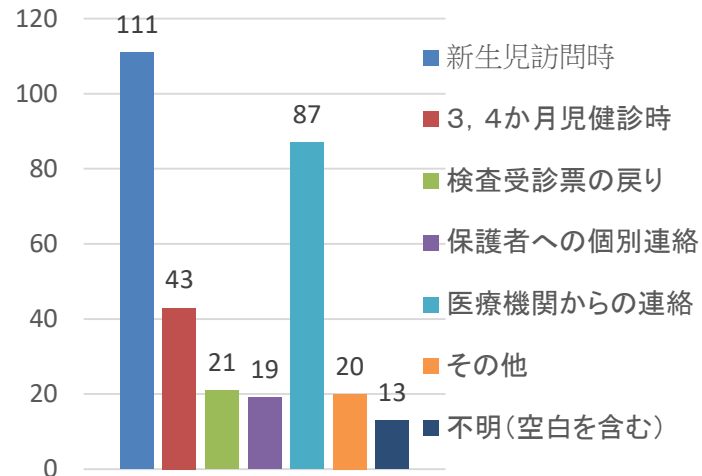
2 令和2年度精密検査対象児についての結果把握時期など（複数記述回答）

(1) 初回検査について

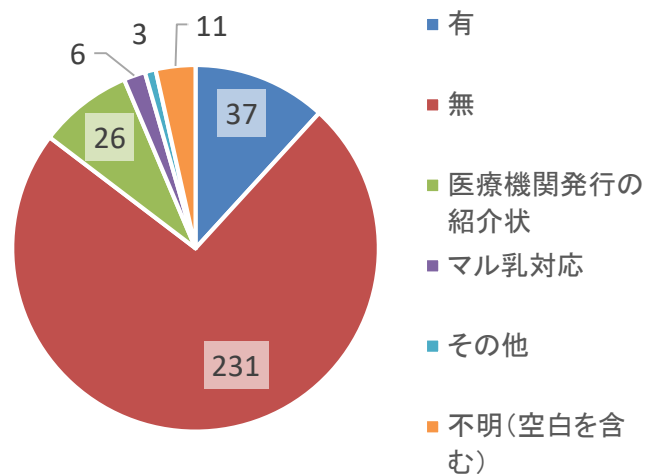
ア 初回検査結果の確認方法



イ 初回検査結果リファ어의把握時期

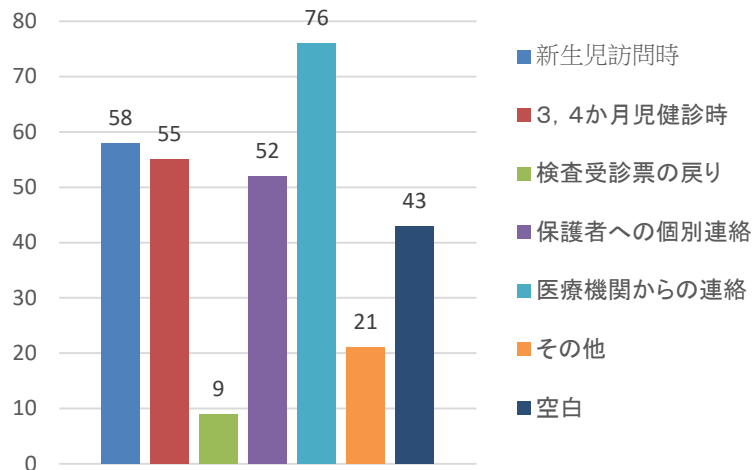


ウ 精密健康診査受診票の発行の有無

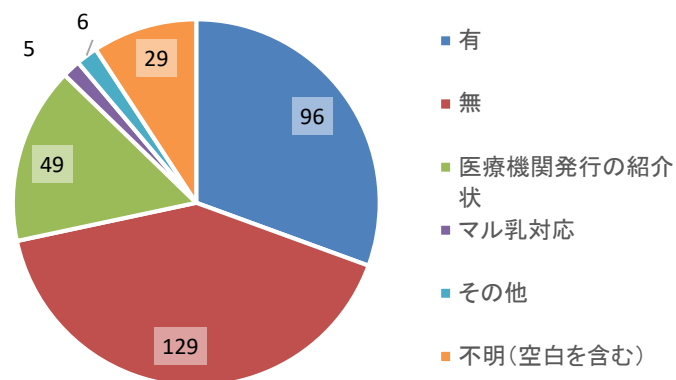


(2) 確認検査について

ア 確認検査結果リファーマーの把握時期

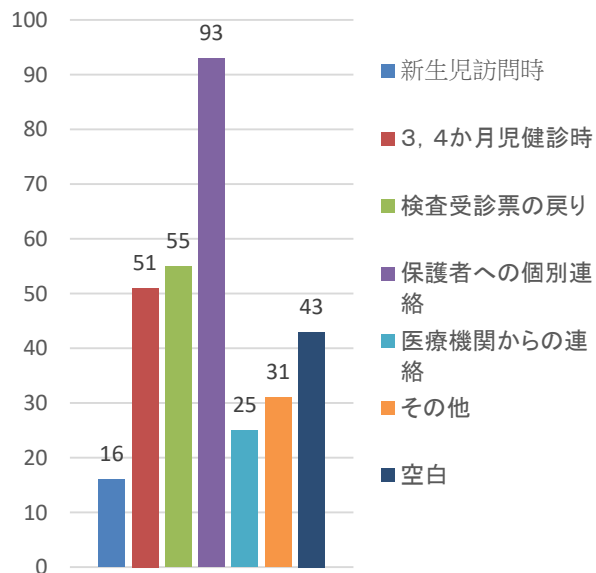


イ 精密健康診査受診票の発行の有無

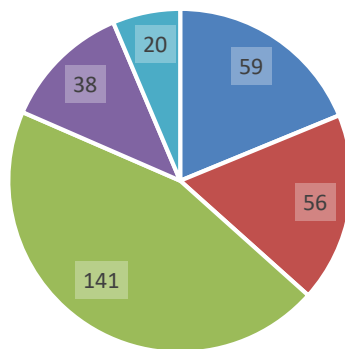


(3) 精密検査について

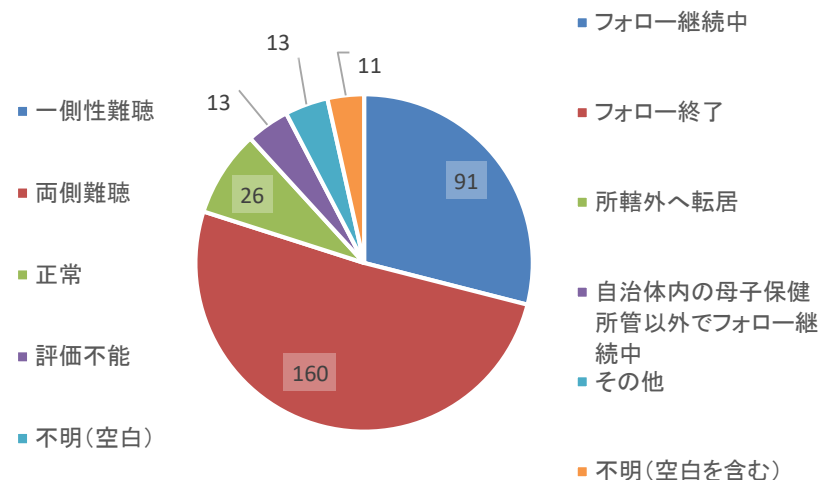
ア 精密検査結果の把握時期



イ 検査・診断の結果

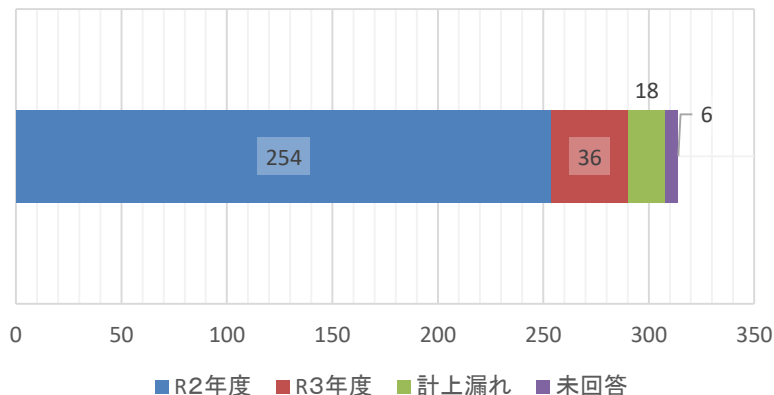


ウ 個別フォローの状況

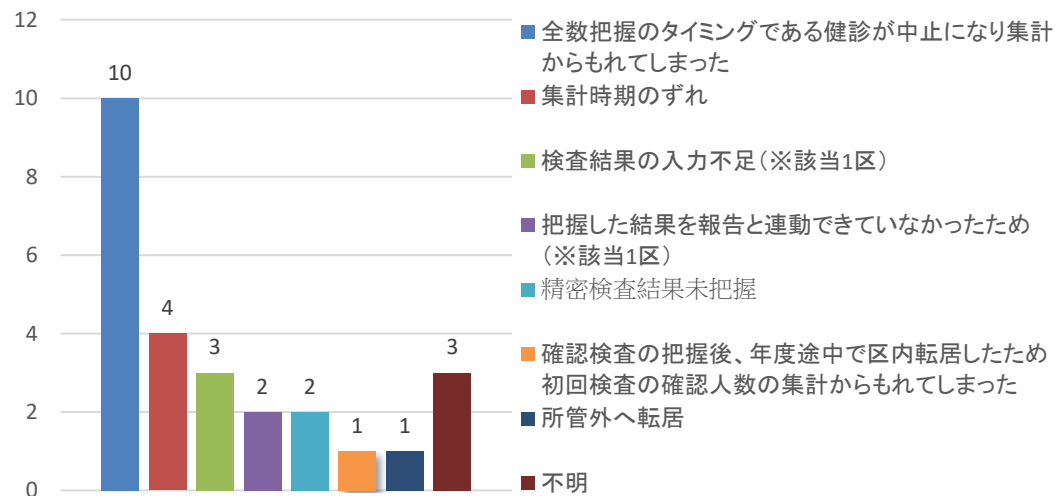


(3) 母子保健事業報告への反映

例示：受検対象となるのがR2年度、結果把握がR3年度



(4) 母子保健事業報告への計上漏れの理由



新生児聴覚検査における統計データの 計上方法の周知について

●令和5年版母子保健事業報告（令和4年度実績）

⇒区市町村へ検査結果を年度をまたいで把握した場合の計上方法についてQ&Aで示し、改めて周知を実施

令和5年版母子保健事業報告Q&Aより

結果把握が年度をまたいだ場合の計上はどうしたらよいか。

結果把握が母子保健事業報告の提出期限に間に合ったもの※1)は当年度中に計上し、間に合わなかったもの※2)は翌年度に計上。

※1)初回検査の結果把握が令和5年4月末だった場合、令和5年版(令和4年度実績)母子保健事業報告に計上

※2)精密検査の結果把握が令和5年6月だった場合、令和6年版(令和5年度実績)母子保健事業報告に計上。